

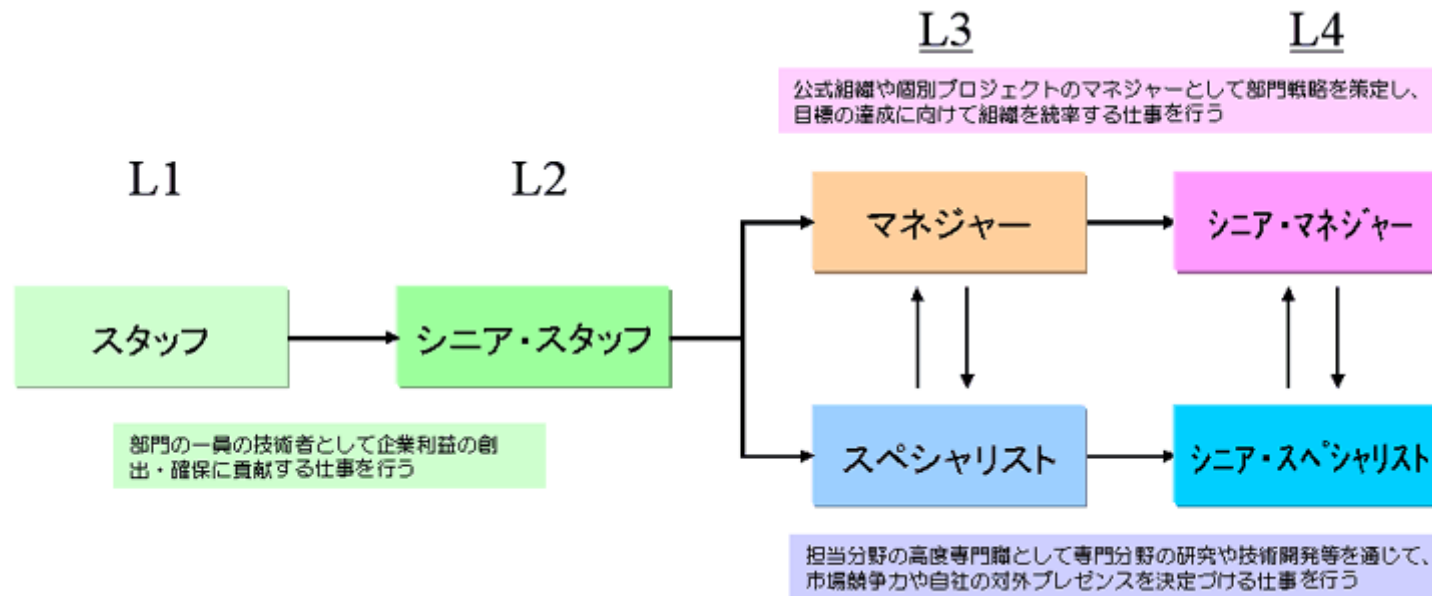
職業能力評価基準(フルードパワー分野)レベル区分の考え

【営業】

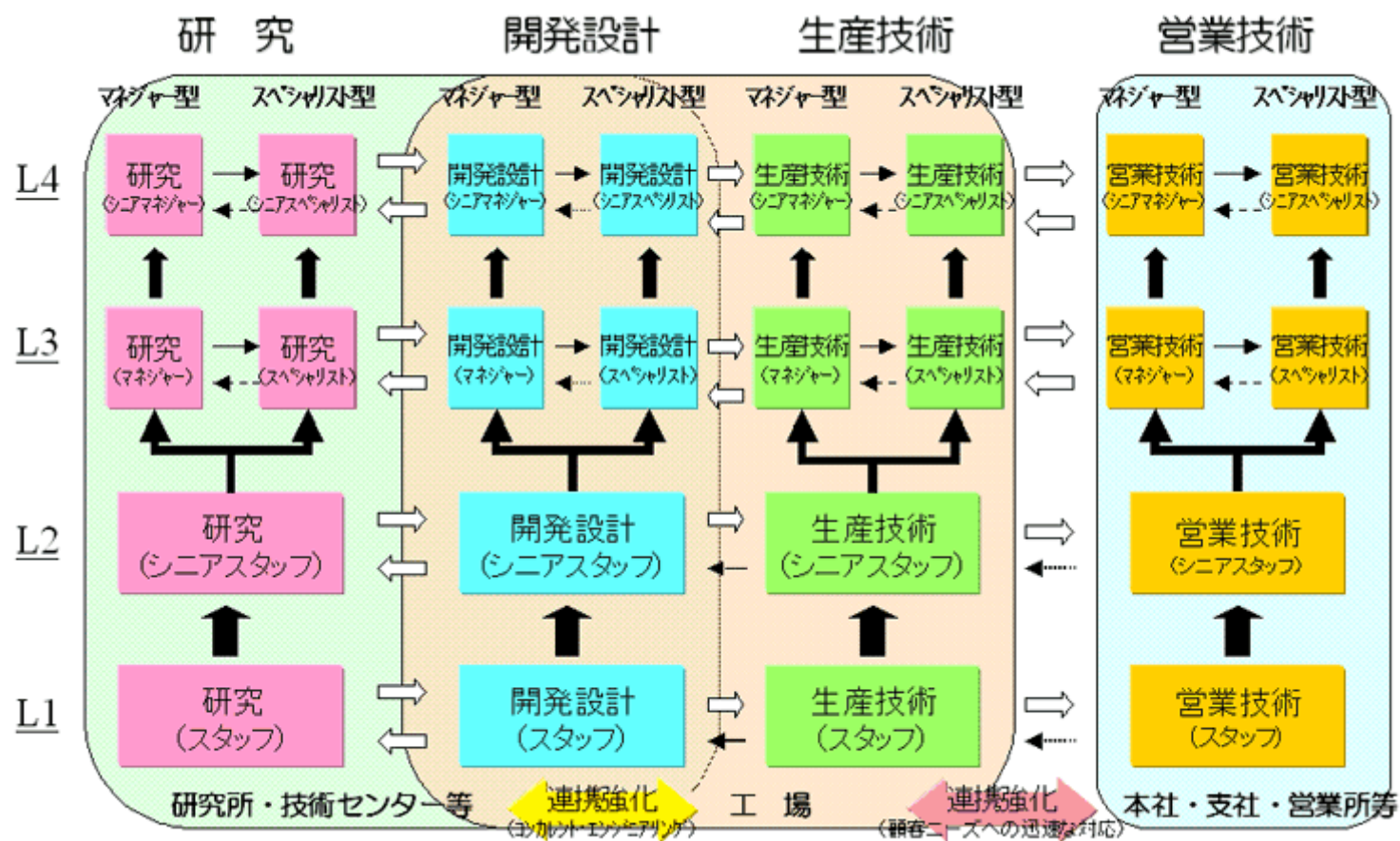
レベル	レベル区分の目安	
	技術系	技能系
レベル 4	<p>マネジメント系</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模または業績影響度の大きい組織の責任者として、組織目標を設定し、広範かつ統合的な判断及び意思決定を行いながら組織を統率するために必要な能力水準。 <p>スペシャリスト系</p> <ul style="list-style-type: none"> 極めて高度な専門技術を有し、担当分野における技術開発や問題解決等を通じて、企業利益を先導・創造するために必要な能力水準。 	<p>マネジメント系</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当組織の責任者として、生産計画や組織目標を設定し、その達成に向けて組織全体を統率するために必要な能力水準。 <p>スペシャリスト系</p> <ul style="list-style-type: none"> 極めて高度な熟練技能を有し、精密な作業を正確かつ効率的に行い、製品の高付加価値化に貢献する能力水準。 (※高度熟練技能者に認定されるような技能水準)
レベル 3	<p>マネジメント系</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小規模または業績影響度が通常程度の組織の責任者として、上位方針を踏まえて担当組織の業務計画作成や管理運営を行うために必要な能力水準。 <p>スペシャリスト系</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度な専門技術を有し、担当分野における技術開発や問題解決等を通じて、企業利益を創出するために必要な能力水準。 	<p>マネジメント系</p> <ul style="list-style-type: none"> 職長・班長等として、作業現場の管理・監督を行うために必要な能力水準(※技能検定特級程度の能力) <p>スペシャリスト系</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度な熟練技能を有し、精密な作業を正確かつ効率的に行い、製品の高付加価値化に貢献する能力水準。 (※高度熟練技能者に認定されるような技能水準)
レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> グループやチームの中心メンバーとして、創意工夫を凝らして自主的な判断、改善、提案を行いながら業務を遂行するために必要な能力水準。 (※技能系については、技能検定1級程度の能力) 	
レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> 担当者として、上司の指示・助言を踏まえて定例的業務を確実に遂行するために必要な能力水準。 (※技能系については、技能検定2～3級程度の能力) 	

フルードパワー分野におけるキャリア形成の例

【技術系職種 例1】



【技術系職種 例2】



【技能系職種】

